

青森県	機関名	青森県		
	部署名	交通・地域社会部 地域生活文化課 文化スポーツ・NPOグループ		
	電話連絡先	017-734-9207		
事業名	高校生ファッションチャレンジ事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
創造力豊かでチャレンジ精神あふれる人材の育成や、産業・地域の活性化を図るため、「全国高等学校ファッションデザイン選手権大会(ファッション甲子園)」を毎年度開催している。				
※平成 12～16 年度は県主催、平成 17 年度からはファッション甲子園実行委員会主催(県は実行委員会構成員として開催支援)				
【第 22 回全国高等学校ファッションデザイン選手権大会 (ファッション甲子園 2023)最終審査会】				
・期 日:令和 5 年 8 月 27 日(日)				
・場 所:弘前市民会館				
・出 場:35 チーム(ファッションデザイン画の応募総数 1,810 点(全国 97 校)から選ばれた 35 点)				
・審査員:著名なファッションジャーナリストやファッションディレクター等				
※YouTube ライブ配信視聴数:4,500 回				
<参考 URL> http://www.f-koshien.com				
  				
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施		平成 12 年度	11,000 千円 (全体予算 27,820 千円)	

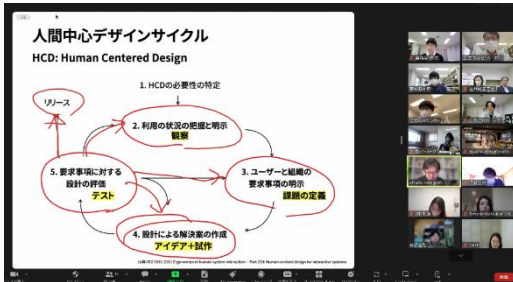
岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター		
	部署名	産業デザイン部		
	電話連絡先	019-635-1115		
事業名	技術支援事業及び研究開発事業			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
研究成果や職員の専門的知識等を活用した技術相談、依頼試験への対応のほか、設備機器の貸出などを通じて県内の企業活動を支援しています。				
①復興支援	センターの持つ技術資源を活用し、企画、製品開発・技術開発、製品化、事業化までを総合的に支援します。			
②技術相談	新技術の照会、製品・原材料の分析や技術開発資金など、技術に関する様々な問題についての相談に応じます。			
③企業訪問	企業等の現場に直接職員が伺い、技術的課題の調査・解決に向けた助言を行います。			
④依頼試験等	各種分析・計測を行い、その結果を成績書として発行します。また、加工(デザイン加工含む)を行い、加工品をお渡します。			
⑤デザイン制作	企業等の希望により、デザイン制作を行います。デザイン創作を伴わない場合は、デザイン加工で対応します。			
⑥設備機器貸出	センターが所有する機器を貸出します。一部の機器は所外への貸出も行っています。			
⑦受託研究	企業等の希望により、センターが行う研究です。			
⑧共同研究	企業等の希望により、企業等とセンターが共同で行う研究です。			
⑨人材育成	講習会の開催、職員の講師派遣、研修生の受入などを行うことで、企業技術者等の育成を支援します。			
⑩研究員派遣	技術開発に係る試験、研究、分析、検査、評価などに関する技術支援のため、研究員を企業等に派遣します。			
⑪研究開発型人材育成支援	新商品開発や技術課題解決などのため、企業等の技術者を受入れ、研究開発及び人材育成を支援します。			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		-	-	

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター		
	部署名	産業デザイン部		
	電話連絡先	019-635-1115		
事業名	デザインラボにおけるデザイン支援			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
市場において競争力のある魅力的な商品の開発を支援するため、平成 31 年 4 月に、デザイン支援拠点「IIRIDESIGN LAB(デザインラボ)」を設置しました。 デザインラボでは、岩手県内の製造事業者及びデザイナー等を対象に、「デザインの普及啓発」、「商品開発支援」、「デザイン手法・製品技術の研究開発」の3つの活動により、北国(岩手)の暮らしを創造するための支援を行います。 県内の製造事業者 工業製品製造事業者 工芸品製造事業者 食料品製造事業者 印刷・関連事業者 その他の製造事業者 製造事業者及びデザイナー等の商品開発を支援 デザイナー等 マーケティングディレクター クリエイティブディレクター プロダクトデザイナー アートディレクター グラフィックデザイナー その他のデザイナー等 De.i IIRI DESIGN LAB 3つの活動内容 デザインの普及啓発 デザイン情報の発信(セミナーの開催、ウェブ等での情報発信等)、ワークショップ等の開催、商品開発プロセス導入支援 商品開発支援 商品企画 → 製品開発 → 製造 → 販売 デザイン相談、製造事業者向け支援、デザイナー向け支援、技術相談、依頼試験、設備・機器貸出等 デザイン手法・製品技術の研究開発 デザイン手法、塗装技術、木材加工技術等に係る研究開発 地方独立行政法人 岩手県工業技術センター 〒980-0801 岩手県盛岡市大町1-1-1 関連機関との連携 コト(ユーザー体験=北国(岩手)の暮らし)づくりのためのモノ(新商品)づくり 日用品 食品 公共空間 生産財 etc 住環境 医療福祉 北国【岩手】の暮らし【コト】 魅力的な商品の開発				
ホームページ http://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/ Facebook https://www.facebook.com/IIRI.DESIGN.LAB/ Youtube https://www.youtube.com/channel/UCiJY8goqHccQAwUJJWHU45Q				
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		令和元年度	-	

岩手県	機関名	地方独立行政法人岩手県工業技術センター
	部署名	産業デザイン部
	電話連絡先	019-635-1115
事業名	IIRI DESIGN LAB (De.i)「まんずデザイン相談の日」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
開催日:毎月第3木曜日 時間:①9時～、②10時30分～、③13時30分～、④15時～ ※各回50分程度 場所:岩手県工業技術センターデザインラボ デザイン相談室 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 ※オンライン対応可 内容:デザインに関する技術等の相談 例:パッケージ、商品開発、集客、UI、宣伝・広告、web、材料活用、UX、 プロダクト、製品設計、グラフィック、自社技術活用、ブランディング、 商品企画、PR、加工技術、販売促進、ビジネスモデル、デザイン経営、等 対象者:商品開発、製造、販売、サービス、経営などの事業を行っている・行おうと 考えている企業・個人。 定員:各回1組(先着順) 相談員:産業デザイン部 研究員 参加費:無料 主催:地方独立行政法人岩手県工業技術センター 申込方法:電子メール ※詳細は岩手県工業技術センターデザインラボ HP に掲載。 IIRI DESIGN LAB(岩手県工業技術センターデザインラボ)トップページ https://www2.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/ IIRI DESIGN LAB からのお知らせ https://www5.pref.iwate.jp/~kiri/designlab/news.php?cat=0 		
令和6年度実施予定		開始年度
令和6年4月から令和7年3月まで実施予定		令和5年度
		予算額
		-

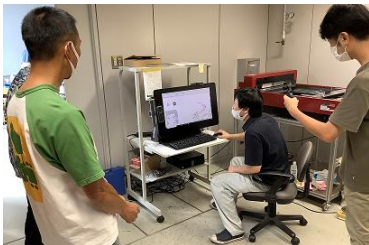
宮城県	機関名	宮城県
	部署名	経済商工観光部 新産業振興課／産業技術総合センター
	電話連絡先	022-211-2722／022-377-8700
事業名	高度技術者養成研修「デザイン・商品企画コース」	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
■令和5年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(有料研修) (1) アイデアスケッチワークショップ 開催日:令和5年7月6日(木)、7月7日(金) 会 場:宮城県産業技術総合センター 講 師:情報科学芸術大学院大学[IAMAS] 教授 小林茂氏 定 員:10名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r5_ideasketch/ (2) マーケットイン手法による商品開発研修 開催日:令和5年10月6日(金) 会 場:ローカルイノベーションスクール 講 師:ブルーファーム株式会社 デザインディレクター 高橋雄一郎氏 定 員:6名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/r5_marketin/ ■令和5年度 高度技術者養成研修 商品企画・デザインコース(無料セミナー) (1) デザイナーが AI と向き合うために知っておくこと 開催日:令和5年5月26日(金) 会 場:zoom によるオンライン開催 講 師:宮城県産業技術総合センター 上席主任研究員 伊藤利憲 定 員:500名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/aidesign/ (2) 地域企業におけるブランド力強化のためのデザイン思考研修 開催日:令和6年2月15日(木) 会 場:宮城県産業技術総合センター 講 師:株式会社スティーブアスタリスク 代表取締役 太田伸志氏 定 員:36名 詳 細:https://www.mit.pref.miyagi.jp/event/designthinking2023/		
  		
令和6年度実施予定		開始年度
令和6年度も継続して実施予定		平成3年度
		予算額
		870千円

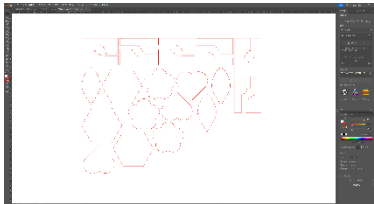
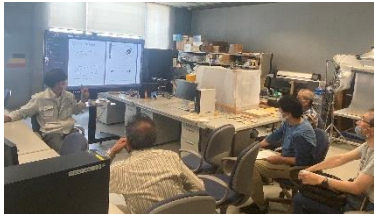
山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034
事業名	山形エクセレントデザイン事業	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
県内製品を対象とした顕彰事業「山形エクセレントデザイン」を平成9年度に開始した。現在は隔年開催としており、令和5年度に 13 回目となる「山形エクセレントデザイン 2023」を実施した。		
■山形エクセレントデザイン 2023		
実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)		
内 容:魅力的で競争力の高い製品づくりとデザインマインドの向上を目指し、県内で企画・開発・生産された優れたデザインの製品や取り組みを選定・顕彰する。		
募集期間:令和5年7月3日(月)～9月8日(金)		
募集対象:過去5年以内に、県内で企画・開発・生産され、令和5年 12 月までにユーザーが購入または利用できるもの・こと		
応募数:60 点		
審査委員:長谷川敦士氏(武蔵野美術大学 教授 / 株式会社コンセント 代表)、宇南山加子氏(株式会社 SyuRo 代表)、酒井聡氏(東北芸術工科大学プロダクトデザイン学科 教授)、原田祐馬氏(UMA/design farm 代表)、吉泉聡氏(TAKT PROJECT 株式会社 代表 / デザイナー)		
選定結果:		
○エクセレントデザイン大賞	「シェルターインクルーシブプレイス コバル」(株式会社夢の公園)	
○準大賞(2点)	「フルーツボックス りんごノラ・フランス」(株式会社丸定) 「天童荘うなぎ勘治郎 ～天童温泉の源泉槽と景観・街並みの創出～」(株式会社天童荘)	
○プロジェクトデザイン賞	「245Skate Park」(株式会社矢萩土建)	
○サーキュラーデザイン賞	「KAKI ENERGY BAR(柿ベースエナジーバー)」(1Blue 株式会社)	
○入賞(8点)	「崑工門の焼き干し芋」(株式会社 KIUEMON) 「公共空間を舞台にした家具ブランド「neighbor」の開発」(株式会社 Q1、株式会社 Y.D.K) 「アレルギー対応離乳食「太陽と月のひかり」」(keiki li'ili'i 株式会社) 「子姫芋キムチ(さがえ子姫芋活用プロジェクト)」(さがえ子姫芋組合) 「Charmurs(シャルマス) スイートアーモンドオイル」(シャルム株式会社) 「テーブル [bambi F-2738・F-2737・F-2742]」(株式会社天童木工) 「ものづくりと情報発信をお手伝いするサービス「HIKARUBE」」(有限会社ヒカルマシナリー) 「コニャクラゲ・チャコニャクラゲ」(まるい食品株式会社)	
 		
		
山形エクセレントデザイン 2023 受賞作品		
< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.yamagatanodesign.jp/yxdesign		
令和 6 年度実施予定		開始年度
令和6年度は、選定品の県内展示会を実施予定。		平成9年度
		予算額
		3,391 千円

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034
事業名	販路開拓支援事業“ブラッシュアップスクール”	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
スクールの前段として、「山形エクセレントデザイン 2023」の奨励企業 9 社に対し、審査委員からのアドバイスを伝えるとともに、今後どのように改善していきたいかをヒアリングした。生活用品系の企業を対象とした販路開拓を目的としたスクール、デザイン思考やデザイン活用を学ぶスクールの 2 講座を開催した。 実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事) ■ブラッシュアップスクール 内 容:講師による講話及びアドバイス、受講者によるグループ討議 期 日:①令和6年3月19日(火)(生活用品系)、②令和6年3月21日(木)(デザイン活用系) 会 場:①山形県工業技術センター、②オンライン Zoom 受 講 料:無料 参加企業:①6社、②7社(山形エクセレントデザイン 2023 受賞企業、奨励企業) 講 師:①日野明子 氏(スタジオ木瓜 代表)、②長谷川敦士 氏(武蔵野美術大学教授／(株)コンセント 代表取締役)		
 生活用品系  デザイン活用系		
< 事業に関する情報が掲載されているサイト URL > https://www.yamagatanodesign.jp/		
令和 6 年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成 27 年度
「山形エクセレントデザイン 2023」の受賞企業・奨励企業を対象とした ブラッシュアップスクールを開催		予算額 3,391 千円 (前頁山形エクセレントデザインの一部として実施)

山形県	機関名	山形県
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課
	電話連絡先	023-630-3034
事業名	デザイン活用促進事業“デザ縁”	
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)		
県内企業がデザインを活用した商品やサービスの開発、プロモーションに取り組むきっかけをつくることを目的に、県内デザイナーによる仕事紹介と交流会や企業見学ツアーを開催した。		
実施主体:山形デザインコンペティション実行委員会(会長:山形県知事)		
■県内デザイナーによる仕事紹介と交流会 内 容:県内デザイナーによる仕事紹介と参加者との交流会を行った。		
①デザ縁 2023 in 庄内 期 日:令和5年8月9日(水) 会 場:酒田まちなかホール 対 象:山形県内の企業(経営者、開発担当者等)、県内デザイナーの仕事に興味がある方 参 加 者:54 名、デザイナー10 組 15 名(合計 69 名) デザイナー:青(鶴岡市)、(同)あきらめの悪い人たち(酒田市)、APOLLO STUDIOS(酒田市)、イトウフミエ(酒田市)、 (株)オリーブ(酒田町)、humming DESIGN(鶴岡市)、はんどれい(株)(鶴岡市)、(同)ひろまるデザイン(酒田市)、 manoma(鶴岡市)、(株)モジャデザイン(酒田町)		
②デザ縁 2024 in 山形 期 日:令和6年3月6日(水) 会 場:山形県高度技術研究開発センター 対 象:山形県内の企業(経営者、開発担当者等)、県内デザイナーの仕事に興味がある方 参 加 者:49 名、デザイナー8 組 11 名(合計 60 名) デザイナー:青木亮太(朝日市)、(株)アーキテクチュアランドスケープ(山形市)、Strobelight(大江市)、竹永絵里(山形市)、 chihiya-design(山形市)、(同)DESIGN STUDIO K(山形市)、(株)フロット クリエイティブセクション(山形市)、 mujina design(山形市)		
■県内デザイナーによる企業見学ツアー 内 容:県内デザイナーが県内企業の製造現場を見学し、意見の交換を行った。 期 日:令和6年3月7日(木) 会 場:(有)ウッド・メーク、(株)栄進钣金製作所、(株)安部吉		
■オンライン“デザ縁” 内 容:県内で活躍するデザイナーを紹介する「オンライン“デザ縁”」のホームページを運営し、オンラインで県内企業とデザイナーのマッチングを行った。		
  		
<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.yamagatanodesign.jp/		
令和6年度実施予定		開始年度
継続して実施予定		平成 27 年度
		予算額 3,391 千円 (前々回山形エクセレントデザインの一部分として実施)

山形県	機関名	山形県	
	部署名	産業労働部産業技術イノベーション課	
	電話連絡先	023-630-3034	
事業名	デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト)		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
新たな事業展開を考えている県内企業を対象に、自社のパーパス(社会的存在意義)を探究し、デザイン思考を実践しながら、次の一手を考える勉強会を開催する。また、東北芸術工科大学の学生とも交流し、学びを深めると共に、双方の魅力の共有を図り、県内におけるクリエイティブ人材の育成とデザイン活用の促進を目指す。 実施主体:山形県 ■デザイン思考イノベーション創出事業(やまがた&Dプロジェクト) 内 容:企業がパーパス(社会的存在意義)を探究しデザイン思考で検討した新事業案と、企業のパーパスをもとに東北芸工大生が検討した新事業案を突き合わせ、互いに学びあう。 参 加 者:デザインセミナー参加企業 24 社、勉強会参加5社、学生 15 名 企 業 チーム 講 師:石川俊祐 氏(株式会社 KESIKI 代表取締役) 学生チーム総指揮:中山ダイスケ 氏(東北芸術工科大学 学長)			
 YAMAGATA &D PROJECT  			
<事業に関する情報が掲載されているサイト URL> https://www.yamagatanodesign.jp/			
令和6年度実施予定		開始年度	予算額
デザイン経営トランスフォーメーション促進事業としてリニューアル予定		令和 3 年	1,396 千円

福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター	
	部署名	産業工芸科	
	電話連絡先	0242-39-2978	
事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「漆とデザインの研究会」		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
漆とデザインの研究会は、漆器製造に関わる先人たちが築き上げてきた技術、知識、意気を再認識し、現代に適合した漆塗料のあり方とデザイン性を追及し、新商品に結びつけるための技術研修と習得を行う研究会として活動している。 内 容:漆器製造に関わる技術(木地・素地・塗・加飾 他)に関する講習会、実習、及び先進地視察 開催日時:毎月第3水曜日 13:30～15:30 場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター 参 加 者:漆器の製造、販売、商品開発を行っている企業、個人 講 師:県内及び近県大学教員、ハイテクプラザ職員、会津漆器職人 など			
 実 習  講演会  先進地視察			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施予定		平成 22 年度	206 千円

福島県	機関名	福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター		
	部署名	産業工芸科		
	電話連絡先	0242-39-2978		
事業名	そだてる研究室事業(製造技術高度化研究会)「デジタルデザイン分科会」			
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)				
デジタルデザイン分科会は、主に県内企業のデジタルファブ리케이션(2D/3D データなどのデジタルデータを活用したモノづくり技術)に関する研修や習得を行う研究会として活動している。				
内 容:デジタルファブ리케이션に関する技術(3D モデリング、レーザー加工機、NC 加工機など)に関する講習会、実習など				
開催日時:不定期				
場 所:福島県ハイテクプラザ会津若松技術支援センター(リアルまたはオンライン形式)				
参 加 者:主に県内の商品開発、製造、販売、サービス等の事業を行っている企業または個人				
講 師:ハイテクプラザ職員、県内及び近県大学教員、その他外部講師など				
  Adobeillustrator 及びレーザー加工機 講習会「乾漆用引き篋・引き型の作成」				
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額	
継続して実施予定		令和元年度	147 千円	

東北経済産業局	機関名	東北経済産業局	
	部署名	総務企画部企画調査課	
	電話連絡先	022-221-4861	
事業名	東北地域のデザイン人材を繋ぐ「ナレッジシェア・ポート(知識移転の場)創出」 実証調査事業		
事業概要(事業内容・期日・場所・テーマ・実施団体・講師・参加人数など)			
1. 目的 東北地域は、全国に先駆けて人口減少が進み地域課題が多様化・複雑化しており、地域の持続的な発展のためには専門人材との協業が不可欠である。このような中、専門人材の一つとして、狭義のデザインにとらわれない活動を行う「インタウンデザイナー」に着目し、実際に地域課題の解決に取り組むデザイン人材の掘り起こしやその役割・効果を検証すると共に、知見の共有の場(ナレッジシェア・ポート)の創出を通じて、デザイン人材の繋がりがつくりや地域企業・支援機関等との協業促進を図ること。 2. 実施内容 (1) 現地研究会の開催 東北 6 県 7 名のインタウンデザイナーを研究会委員とし、地域の企業等とインタウンデザイナーの協業に関する意見交換を行い、協業促進に向けたポイントを分析した。 【研究会委員】 ・アソビス 代表 佐々木 遊 氏(青森県八戸市) ・のはら 代表 阿部 拓也 氏(岩手県遠野市) ・合同会社 nekiwa 代表社員 横塚 明日美 氏(宮城県丸森町) ・澁谷デザイン事務所 澁谷 和之 氏(秋田県美郷町) ・吉野敏充デザイン事務所 代表 吉野 敏充 氏(山形県新庄市) ・marutt 株式会社 代表取締役 西山 里佳 氏(福島県南相馬市) ・高木デザイン事務所 高木 市之助 氏(福島県いわき市) (2) 公開イベントの開催 研究会委員を登壇者とし、地域の企業等との協業において、どのような情報の共有が協業促進に向けて有意義であるかなどを公開の場で討論し、参加者も含めて知見の共有を行った。 ・イベント名 「東北デ、～東北で、デザインするということ～」 ・期日 2024 年 2 月 25 日(日) ・場所 仙台フォーラス 7 階「even」 ・参加人数 120 名 (3) ガイドブックの作成 (1) 現地研究会及び(2) 公開イベントの実施によって得られた知見を、東北のインタウンデザイナーと地域企業等との協業促進を目的としたガイドブックを作成、公開した。 < 参考 URL > https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/240425.html https://www.tohoku.meti.go.jp/kikaku/chihososei/topics/pdf/240425_1.pdf			
令和 6 年度実施予定		開始年度	予算額
継続して実施		令和5年度	2,943 千円

